

理事長 (総合施設長)	事務局			施設長 (部長)	次長	課長	主任	担当者
	事務局長	総務部長	総務課長					
								

会 議 録

ISC-5.5-01-04

部署名	訪問介護課		
名 称	医療連携推進会議		
開催日	平成 29 年 5 月 19 日 (水曜日)		
時 間	14 : 00～15 : 00		
会 場	旧ふれんど館	記録者	中島 喬生

議 事 内 容

○平成 29 年度 第一回介護・医療連携推進会議開催

1. 尾形 かおり 副会長 挨拶

今年度第一回の医療連携推進会議となりますので今一度皆さんと一緒にこの会議の目的を再確認したいと思います。

この会議は定期巡回随時対応型訪問介護看護を提供するいずみの園コールセンター 24 時間サービスは地域密着型サービス事業として適切な運営を行い地域に開かれたサービスとして質の確保と向上を図ることを目的として開かれているものです。

そこで私たちは積極的に意見を述べ合い進行を進めていくことが大切となりますのでご協力をお願いいたします。

2. 中津市役所職員挨拶 介護長寿課 介護係 今富 玉緒 氏

在宅医療介護連携の推進事業は今年度、協議会を設置してその下に作業部会をつくりこの会議にも参加している方も作業部会の委員として参加して頂いています。

在宅医療介護連携を進める中でどのような研修をしたらよいのか、どのような連携体制をしたらよいのか話し合っているところです。

中津市役所職員挨拶 中尾 実沙 氏

今年度地域密着型の訪問系を担当させていただきます。

30 年度にむけてこれから中津市としては在宅を中心として 24 時間 365 日のサービスを充実させていきたいと国の方針もありますので今後もご協力のほどお願いいたします。

3. いずみの園在宅サービス事業部 部長 挨拶 谷口 弘美

昨年から移動してきて一年が経ち、橋本も課長になり一年が経ちました。

昨年度の経験を活かし、この医療連携推進会議も今まで先輩方が行っていたことを踏まえながら先ほど尾形副会長さんとも言われていたようにサービスの質の向上を目指して行って

議 事 内 容

行きたいと考えています。

来月にはなるのですが6月22日に奈良県にある「あすなら苑」母体が生協になるのですが定期巡回随時対応型訪問介護看護のご利用者が一番多いところで他に小規模多機能型居宅介護、特別養護老人ホームなどを経営されており総ご利用者数が1000人規模のところなんですが見学に来て頂けるとのことで、お互い情報交換をしながらよりよいサービスが展開できればと考えています。

4. 定期巡回随時対応型訪問介護看護 実績報告 中島 喬生

*実績別紙参照

随時訪問内容でその他の内容につきましてはご夫婦二人暮らしで認知のご利用者様（妻）が寝ているご主人をみて息をしていないと勘違いしコールをされたケースとなっています。ヘルパーが訪問するとご夫婦二人で迎えてくださり相談できる場所、すぐに来てくれる場所があるという事にとっても安心できる。と言われたケースとなります。

また、他のその他の随時訪問でも電気がつかないやテレビがつかないなど緊急性は低い内容となりますが些細な困りごとでも訪問行うことにより精神的な安定や別居している家族さんの手を煩わせることなく安心して自宅で暮らせております。

また、今後暑い季節がきますので各サービス提供責任者と話し合い、水分補給や室温管理が難しいご利用者様には日中の訪問時間の追加を検討したいと考えています。

5. 自己評価・外部評価について 和間 亜紀

昨年度、委員の皆様にご協力していただきありがとうございました。

集計したものを市役所の方に提出をしております。

今年度は外部評価を他の機関に依頼しようと考えておりましたが定期巡回随時対応型の外部評価をしてくれる機関がなかなかなく今年度も委員の皆様にご協力お願いする可能性がありその際はまた、ご協力のほどよろしくお願い致します。

別紙になりますが昨年度外部評価を頂いた際に利用者の週間サービスが見えるほうがよいとのご指摘を頂きましたので今年度より新規アセスメント表に掲載するようにしています。

6. 看護利用者報告・連携状況

なかつ訪問看護 山野 英子 氏

3名のご利用者のところに訪問させていただいています。

その中で90歳、男性介護4のご利用者で最近よく無呼吸発作があるとのことで、ご家族方よりご相談があり無呼吸発作があるとのことで主治医は循環器が専門なので呼吸器の方に受診したほうがいいのではないかとのことにて紹介状を書いて頂いたケースがあり専門

議 事 内 容

医同士で連携して頂く懸け橋としての手伝いをさせていただいています。
違うご利用者様では排便が出ない時などに摘便にて随時で対応させて頂いています。

あずき訪問看護 今永 亜希子 氏

アセスメント訪問で 29 名のご利用者様のところに訪問させて頂いています。
連携型では 2 名の方に訪問していましたが 1 名の方は終末期で再々の吸引が必要な事から主治医に相談し現在では医療保険での訪問となっています。
もう一人の方は高血圧症、不整脈などがあり状態観察服薬の管理にて訪問させて頂いており性格的になかなか難しいところがありますが現在は落ち着いて過ごされております。

いずみの園訪問看護 有隅 たまき 氏

アセスメント訪問 25 名 連携型では 1 名の方の訪問をさせて頂いています。
連携型のご利用者様はパーキンソン病があり妄想や幻覚がみられ少しの物音などでも人がいるなど不安な気持ちになりコールをされ相談やヘルパーさんに訪問してもらうことにより安心しているようです。
定期巡回とはあまり関係ないかもしれませんが市民病院などターミナル期でも要介護認定を持っていない方の退院事例が増えており定期巡回でなくとも困った時のコール夜間対応型訪問介護の利用などが要支援の方でも利用できればよいのと思うケースが増えていきます。

7. 事例検討

いずみの園 在宅サービス事業部 次長 伊藤 保幸

いずみの園 介護保険サービスセンター 課長 大島 伸城

*別紙参照

8. 質疑応答

*別紙参照

事例検討

タイトル

「どうしてもトイレで排泄したい」

トイレまで教トル
立っていく。
トイレでかつる

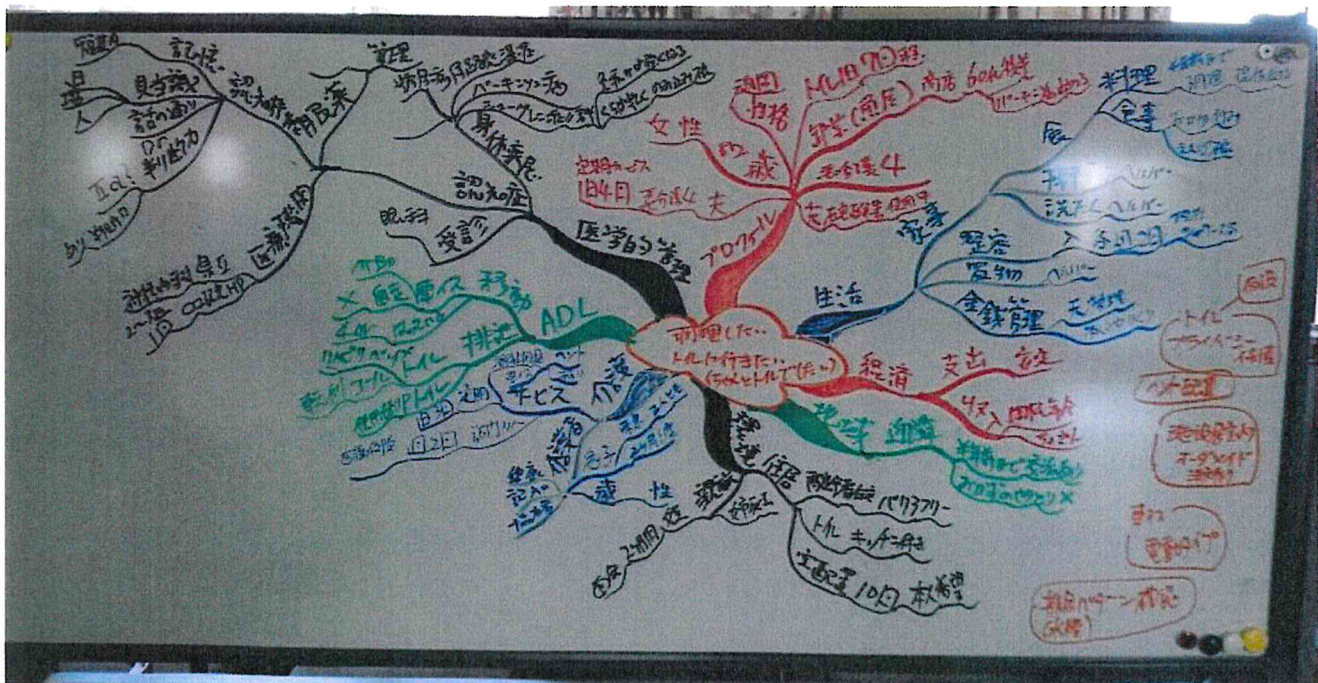
開かり時期
H27. 4. 27

困っている事・課題

- ① 排泄をガマンして感染源になりやす
リハビロなども使用し欲しい。
- ② トイレまでの移動で転倒リスクがある
- ③ サービスの提案を受け取れない...
トル、車イス移乗の操作指導⇒受け入れ
の電着車イス

1) バックの方向に移動の、排せつマシン
の、水が吐き出

2) ハード面：ホダメドでの作り
いん
：フーム系トイレ



平成 27年度第 1回会議開催報告書

事業所	名称	いずみの園コールセンター24時間サービス介護医療連携推進会議			担当者	中島 喬生	
	開催地	いずみの園旧ふれんど館					
開催状況	日時	平成 29年 5月 19日 (木) 14 : 00 ~ 15 : 00					
	区分	氏 名	出欠	分野	区分	氏 名	役職
	委員	岩崎 信一	出・欠	利用者家族代表	事務局	谷口 弘美	在宅支援サービス事業部 部長
		富岡 猛	出・欠	地域住民代表		橋本 由美	訪問介護課 課長
		尾形 かおり	出・欠	地域の医療機関代表		和間 亜紀	訪問介護課 主任
		二木 久美子	出・欠	地域の医療機関代表		南 慎吾	訪問介護課 面接相談員
		相良 康德	出・欠	知見を有する者		中島 喬生	訪問介護課 主任
		江口 智佳子	出・欠	地域包括支援センター			
		山野 英子	出・欠	連携訪問看護ステーション			
		今永 亜希子	出・欠	連携訪問看護ステーション			
		有隅 たまき	出・欠	連携訪問看護ステーション			
		今富 玉緒	出・欠	中津市職員			
	中尾 実沙	出・欠	中津市職員				
開催概要							
1. 活動状況報告 別紙のとおり							
2. 会議録 別紙のとおり							
3. 委員の要望・助言・評価							
4. 左記に対する事業所の対応、考え方							
実績表の中に医療機関への相談とあるが連携やアセスメントで訪問看護を利用していると思うがなぜ訪問看護へ連絡、相談せずに医療機関へ連絡したのか。				個々の利用者様により担当学会議等で体調不良時の場合は何処に一番に連絡をするかを事前に話し合いを行っており今回の場合は体調不良時には医療機関へ報告と事前に決まっていた利用者のため。			
5. その他							